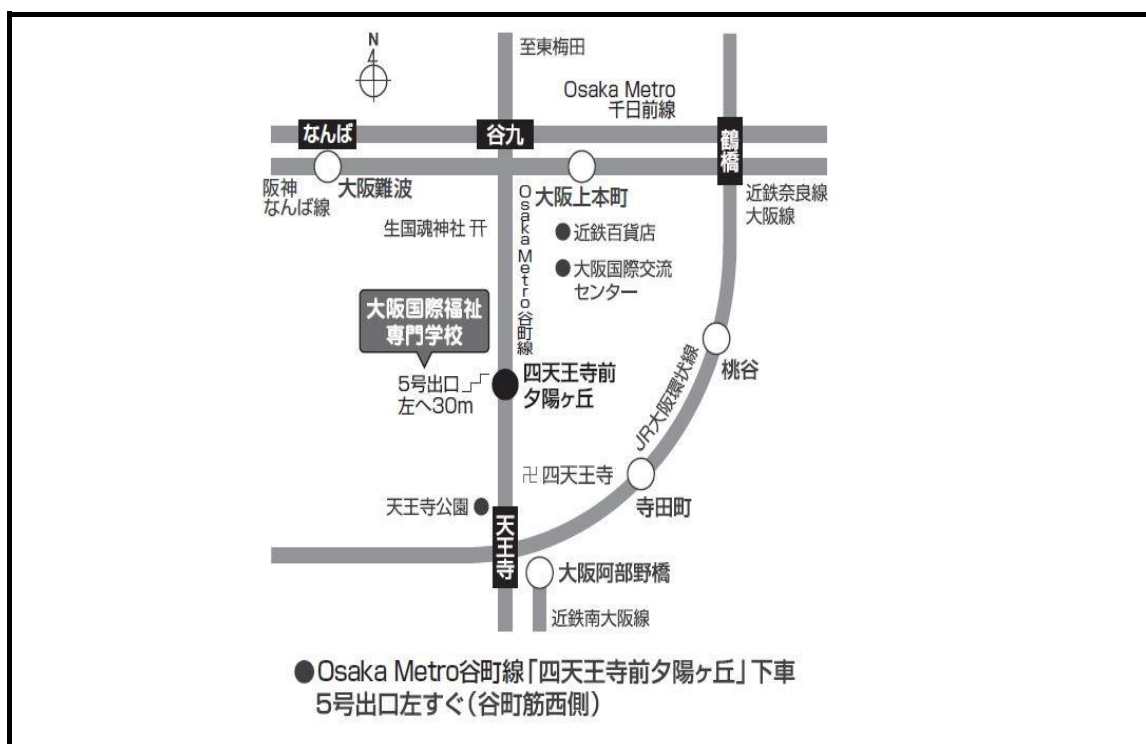


訓練コース内容

識別コード	22L0405	訓練コース番号	5-04-27-207-05-0106
訓練科名	長期高度人材育成コース(介護福祉士養成コース)(2年)		
訓練期間	令和4年4月1日(金)～令和6年3月29日(金)		
訓練実施校名	大阪国際福祉専門学校		
所在地	大阪市天王寺区夕陽丘町3-10		
電話番号	06-6771-4188	受付時間	9:00～17:00
事前説明会日時	2月4日(金)、2月5日(土)、2月9日(水)、2月12日(土)、2月14日(月)、2月17日(木) 実施時間はいずれの回も10:00あるいは15:00開始で、約90分です。各回とも同一内容です。		
選考試験日	3月8日(火)		
試験科目	個人面接		
入校に必要な最終学歴	高等学校卒業資格もしくは同等資格以上		
最寄り駅	Osaka Metro 谷町線 四天王寺前夕陽ヶ丘駅 (徒歩1分・距離0.1km) JR・Osaka Metro 御堂筋線 天王寺駅 (徒歩15分・距離0.9km) 近鉄線 大阪上本町駅・Osaka Metro 谷町線 谷町九丁目駅 (徒歩15分・距離0.9km) 近鉄 南大阪線 大阪阿部野橋駅 (徒歩18分・距離1.0km)		
備考	原則登校になりますが、緊急事態宣言などでオンライン訓練を実施する場合、受講に必要な備品(パソコンもしくはスマートフォン、モバイルルーター、アプリケーション等)は自己負担となります。		

【最寄り駅からの地図】



委託訓練カリキュラム

訓練科名	介護福祉士養成コース(2年)		就職先の 職務・仕事	社会福祉施設や障がい者施設等において介護を中心とした自立支援や介助・援助業務をおこなう。	
訓練期間	令和4年4月1日～ 令和6年3月29日(24か月)				
訓練目標	厚生労働大臣指定の介護福祉士養成課程のカリキュラムを中心に、校内での座学による知識習得と実践に即した演習により技術を習得し、学外実習では、現場でより必要とされる介護・福祉に関する専門的知識と技能を習得する。				
仕上がり像	介護福祉士資格を有する専門的な人材として、福祉施設の介護職や専門性を活かした職種への就職をめざす。				
訓練概要	介護のプロフェッショナルとしての専門知識・技術の修得はもちろんのこと、校内での演習授業や学外実習においては現場で必要とされる利用者さんや家族さん、スタッフ間でのコミュニケーション力の向上にも注力した内容としている。				
領域	形態	科目	科目の内容	時間	
人間と社会	講義	人間の尊厳と自立(必須)	介護福祉士として、自立・自律を支える介護の基礎を学ぶ	30	
	講義	人間関係とコミュニケーションA(必須)	心理学の基礎理論の習得	30	
	講義	人間関係とコミュニケーションB(必須)	チームにおけるコミュニケーション	30	
	講義	社会の制度と理解I(必須)	私たちの生活と社会について学ぶ	30	
	講義	社会の制度と理解II(必須)	社会における保障制度全般を理解する	30	
	講義/演習	フィールドワーク(必須)	学んだ知識・技術を実践を通じて理解する	60	
	講義/演習	ビジネス実務(必須)	社会人として必要なビジネスマナー等を学ぶ	30	
介護	講義/演習	人権//ライフゼミI(必須)	国家試験の対策及び人権についての理解	60	
	講義/演習	人権//ライフゼミII(必須)	国家試験の対策及び人権についての理解	60	
	講義	介護の基本IA(必須)	基礎-介護福祉士としての基本的視点を学ぶ	30	
	講義	介護の基本IB(必須)	基礎-自立支援の考え方	30	
	講義	介護の基本II(必須)	チームアプローチの意義や地域連携の意義を学ぶ	60	
	講義	介護の基本III(必須)	事例検討・研究-応用的介護福祉士観	30	
	講義	介護の基本IV(必須)	グループワークで高齢者に多い疾患を調査・発表。	30	
	講義/演習	コミュニケーション技術A(必須)	基礎編-利用者や家族との信頼関係の構築	30	
	講義/演習	コミュニケーション技術B(必須)	応用編-チーム間の情報の共有や連携	30	
	講義/演習	生活支援技術I(必須)	基礎-生活支援技術の基本	30	
	講義/演習	生活支援技術II(必須)	基礎-口腔ケア・身体の清潔保持	30	
	講義/演習	生活支援技術III(必須)	基礎-移動・睡眠・排泄の知識と技術を理解する	30	
	講義/演習	生活支援技術IV(必須)	訪問通所介護応用-食事・洗濯・掃除・裁縫等	30	
	講義/演習	生活支援技術V(必須)	障がい別等事例応用-福祉用具・応急手当等	30	
	講義/演習	生活支援技術VI(必須)	障がい別等事例応用-高齢者や障がいの疾病	30	
	講義/演習	生活支援技術VII(必須)	レクリエーション技術-協同性・積極性を養う	30	
	講義/演習	生活支援技術(障がいI)(必須)	障害者の現場事例-障害者の状態・状況を理解する	30	
	講義/演習	生活支援技術(障がいII)(必須)	障がいを持つ個々の利用者にあった介護や支援の実践	30	
	講義/演習	生活支援技術(障がいIII)(必須)	点字・手話-視覚障がいの者の生活上の問題点や社会的障壁を知る	30	
	講義/演習	介護過程I(必須)	基礎-利用者のニーズ(解決すべき生活課題)や可能性を把握	30	
	講義/演習	介護過程II(必須)	基礎-介護計画への活かし方・事実の捉え方等	30	
	講義/演習	介護過程III(必須)	基礎-質の高い情報の収集と分析等	30	
	講義/演習	介護過程IV(必須)	応用-利用者にとって最善の支援策・介護計画の立案	30	
	講義/演習	介護過程V(必須)	応用-介護過程におけるチームアプローチの実践等	30	
	演習	介護総合演習I(必須)	介護現場での体験学習の意義の重要性を学ぶ	60	
	演習	介護総合演習II(必須)	実習現場での全般的な学び。卒業事例研究を含む	60	
	演習	介護実習I(必須)	訪問通所実習、居宅実習、施設実習	270	
演習	介護実習II(介護過程実習)(必須)	介護実習	180		
こころとからだのしくみ	講義	発達と老化の理解(必須)	高齢者や障がい者との対人折衝についての理解	60	
	講義	認知症の理解I(必須)	認知症の中核症状と周辺症状の理解と家族への支援等	30	
	講義	認知症の理解II(必須)	現場事例検討-食事・排泄・入浴・徘徊・幻覚・幻聴等	30	
	講義	障がいの理解I(必須)	基礎-障がいの概念と障がい福祉の基本的理念を学ぶ	30	
	講義	障がいの理解II(必須)	応用・現場事例検討-支援の方法を学ぶ	30	
	講義	こころとからだのしくみI(必須)	生命維持の仕組み等を理解する	30	
	講義	こころとからだのしくみII(必須)	生活を支える介護実践との関係を学ぶ	30	
	講義	こころとからだのしくみIII(必須)	ADLの中の更衣・睡眠等に関する自立支援	30	
講義	こころとからだのしくみIV(必須)	終末期におけるからだ・こころ等の理解等	30		
医療的ケア	講義	医療的ケアI(必須)	医療的ケア実施の基礎 喀痰吸引(基礎知識・実施手順)	60	
	演習	医療的ケアII(必須)	経管栄養(基礎知識・実施手順)		
その他の講座	演習	実地手順・演習		60	
	講義	安全衛生(必須)	安全衛生	3	
	講義	働くことの基本ルール(必須)	働くことの基本ルール	3	
	演習	情報処理I・II(必須)	パソコンの基本操作とWord・Excel	60	
	講義	介護福祉特講II(必須)	国家試験の対策	30	
	講義	介護福祉特講III(必須)	国家試験の直前対策	30	
	講義	介護福祉特講IV(必須)	国家試験の直前集中対策	30	
	講義	健康心理学(選択)	ストレスコントロールの技法を身につけ援助者としての心構えを学ぶ	30	
講義	障がい者スポーツ概論(選択)	障がいを理解しスポーツ活動の指導ができる知識を学ぶ	30		
就職支援	講義	アロマセラピー(選択)	安全で正しいアロマセラピーの基本知識を身につける	30	
	講義/演習	介護福祉特講I(必須)	就職活動のやり方を知り、採用試験に対応できる力をつける	30	
	演習	面接指導(必須)	模擬面接により応答の実践力をつける	15	
	演習	就職面談(必須)	就職活動に係る個別面談	15	
訓練時間総合計				2,346 時間	
学科	1,773 時間	実技	510 時間	就職支援	63 時間